

会 議 録

会議名	令和2年度 第1回清新地区まちづくり会議		
事務局 (担当課)	中央区役所 地域振興課 本庁地域まちづくりセンター 電話042-707-7049(直通)		
開催日時	令和2年7月21日(火) 19時00分～21時10分		
開催場所	清新公民館 大会議室		
出席者	委員	17人(別紙のとおり)	
	その他	4人(中央区区長、中央区副区長兼区政策課長、中央区役所地域振興課長、産業支援課)	
	事務局	3人(中央区役所地域振興課本庁地域まちづくりセンター2人、地域活力推進員 1人)	
公開の可否	可	不可	一部不可
		傍聴者数	2人
公開不可・一部不可の場合、その理由			
会議次第	<p>1 開 会</p> <p>2 委員自己紹介</p> <p>3 事務連絡 さがみはら39キャッシュバックキャンペーン</p> <p>4 清新地区まちづくり会議会則について</p> <p>5 令和2年度役員の選出について</p> <p>6 会長あいさつ</p> <p>7 区長あいさつ</p> <p>8 議 題</p> <p>(1) まちづくり会議について</p> <p>(2) 地域活性化事業交付金について</p> <p>(3) まちづくり会議で協議するテーマについて</p> <p>(4) 旧神奈川医療少年院跡地活用について</p> <p>(5) 令和2年度清新地区まちづくりを考える懇談会のテーマについて</p> <p>(6) その他</p> <p style="padding-left: 40px;">相模原市総合計画の概要版について</p> <p style="padding-left: 40px;">今後のスケジュールについて</p> <p>8 閉 会</p>		

審 議 経 過

主な内容は次のとおり。(は委員の発言)

1 開会

事務局が開会

2 委員自己紹介

委員の自己紹介を行った。

3 事務連絡

さがみはら39キャッシュバックキャンペーンについて、市産業支援課より、資料に基づき説明がされた。

4 清新地区まちづくり会議会則について

事務局から、清新地区まちづくり会議会則について、資料に基づき説明した。

5 令和2年度役員の選出について

事務局から、まちづくり会議の役員の選出について説明を行った後、清新地区まちづくり会議会則第8条の規定に基づき、令和2年度の役員の選出が行われ、次のとおり承認された。

役 職	氏 名	団体名・役職
会 長	田代 明寛	清新地区自治会連合会会長
副会長	山口 敏夫	清新地区社会福祉協議会会長
副会長	神谷 静枝	清新地区民生委員児童委員協議会会長
副会長	武田 邦雄	清新地区社会福祉協議会副会長

6 会長あいさつ

田代会長あいさつ

7 区長あいさつ

藤田中央区長あいさつ

8 議題

(1) まちづくり会議について

田代会長から、まちづくり会議の資料を参照しながら、まちづくり会議の目的、役割等について説明した。

< 意見・質疑なし >

(2) 地域活性化事業交付金について

事務局から、地域活性化事業交付金制度の概要、申請事業の審査基準等について説明した。

また、現在までの申請状況等の説明をし、令和元年度の清新地区地域活性化事業交付金交付事業の紹介をした。

< 意見・質疑なし >

(3) まちづくり会議で協議するテーマについて

事務局から、令和元年度に協議したテーマについて説明し、「清新小学校前交差点と登下校の見守り」と「旧神奈川医療少年院跡地活用」については令和2年度も引き続き継続審議になることを説明した。また、今年度のテーマを7月31日(金)まで募集する旨の説明も行った。

< 意見・質疑なし >

(4) 旧神奈川医療少年院跡地活用について

田代会長より、まちづくり会議からの要望書とそれに対する法務省からの回答について説明があった。

また、委員の意見も取りまとめて反映をしたいため、もう一度資料に目を通してもらい、7月31日(金)まで、法務省の回答に対する意見書を提出できる旨の説明も行った。

< 主な意見・質疑 >

○清新地区では、跡地を有効活用していく提案をしている。国の回答をみると、資料P32には「諸外国から多くの関係機関等の方々が訪れることが想定されます」とあるが、われわれはそんな想定はしていない。国は少年院を建設することを前提に回答している。われわれの要望が役に立たなかった。国と地域との考え方が相違していると思う。

さらに、「国内外から、これらの多くの方々に訪れていただくことは、今後ますます発展を遂げられる当地の活性化の一助になるのではないかと考えております。」とあるが、地域の思いと国の回答が別方向である。地域から、意見をだしても受け入れられていない。

清新地区まちづくり会議においてこの跡地活用の問題は、令和元年度からの継続審議事項となっている。国の回答では、跡地の有効活用に対しては難しいと受け止められるので、付加価値として使用できる程度だと思う。もっと踏み

込んだ意見を言っていないとこの話は進まない。みんなで検討していければと思う。

○跡地のそばには小中学校等があるので、少年院以外の他の施設を要望していく立場で国と話をしている。この回答をみても、これでどう地域の魅力アップにつながるのかと思っている。さらには、新たに昭島市に移転し建設されているのに、なぜあらためてここに建設をする必要があるのか疑問である。それについては、今後、国と話合いをする時に質問していきたい。

また、新型コロナの問題がおちついたら国をこの会議に呼びたいと考えている。委員皆様の意見をしっかりと伺い、今年度も継続審議事項として、まちづくり会議の中で大きな課題として取り組んでいきたいと思う。

○この内容では、回答としてはわからない。国際的に立派な施設になり、諸外国からいろんな人が訪れて、地元にどういうメリットがあるのか疑問である。また、災害時のことは回答にあるが、平常時のことが何もない。少年院以外で近隣の住民が利用できる有用なものにするように、これから粘り強く話をさせて欲しいし、令和2年度の継続審議事項として取り上げていただき、話ができるいろんな機会をつくって欲しい。

○この問題に対してどう対応していくか。市とも相談をしながら進めていきたい。地域としては大きな課題となる。各委員の方には再度内容をお読み頂き、7月31日(金)までに意見書を提出して欲しい。その内容をまとめて国へ質問していきたい。新型コロナがおさまる方向が見えれば、まちづくり会議の役員が国へ出向いて、地域のためになるように話をしていきたい。

(5) 令和2年度清新地区まちづくりを考える懇談会のテーマについて

武田委員から、令和2年度清新地区まちづくりを考える懇談会のテーマについて、令和元年度の懇談会の結果を参考に、令和2年度も同様のテーマで市と懇談したい旨の説明が行われた。

< 主な意見・質疑 >

○旧神奈川医療少年院跡地活用については、国の回答から考えると昨年までの大きな要望をしてもできないのではないかと思う。地域にどれだけ貢献できるかを話すしかないのではないか。よって、要望として国に話していくのは必要だがテーマとしてはどうかと思う。

○昨年度話し合った理想の形を諦めてしまうのはどうかと思う。よい町にしていく上では諦めないで続けていくことも必要だと思う。

< 結論 > テーマについては8月19日の会議まで持ち越しとなる。

(6) その他

事務局から相模原市総合計画の概要版と今後のスケジュールについて説明をした。概要版については各委員の方に1度読んでいただき、疑問点等あれば次回以降意見を出していただきたいことを報告した。

< 意見・質疑なし >

9 閉会

神谷副会長が閉会

以 上

第 1 回清新地区まちづくり会議出欠席名簿

	氏 名	所 属 等	備 考	出欠席
1	田代 明寛	清新地区自治会連合会	会長	出席
2	丹波 晴道	清新地区自治会連合会	推薦	出席
3	柴田 文夫	清新地区自治会連合会	推薦	出席
4	大山 孝	清新地区自治会連合会	推薦	出席
5	山口 敏夫	清新地区社会福祉協議会	会長	出席
6	武田 邦雄	清新地区社会福祉協議会	推薦	出席
7	田所 洋子	清新地区社会福祉協議会	推薦	出席
8	神谷 静枝	清新地区民生委員児童委員協議会	会長	出席
9	笠原 泰子	清新地区民生委員児童委員協議会	推薦	出席
10	佐藤 彰夫	清新公民館	館長	出席
11	小山 和子	清新公民館	推薦	欠席
12	玉田 稔	清新地区老人クラブ連合会	会長	出席
13	塚田 修一	清新小学校	校長	欠席
14	山崎 真理	小山中学校	校長	出席
15	小林 功治	清新小学校 P T A	会長	欠席
16	池田 恵美子	清新地区子ども会育成連絡協議会	会長	欠席
17	山中 森勝	有識者	有識者	出席
18	磯崎 巧	防犯指導員	指導員	出席
19	山根 美絵	清新地区青少年健全育成協議会	総務	出席
20	菅原 聡	清新高齢者支援センター	センター長	出席
21	横山 房男	相模原中央商店街協同組合	理事長	出席